

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 2 日現在

機関番号：12601
研究種目：基盤研究(C) (一般)
研究期間：2013～2015
課題番号：25370044
研究課題名(和文) Contextual Chinese-English Dictionary of the Thirteen Classics

研究課題名(英文) Contextual Chinese-English Dictionary of the Thirteen Classics

研究代表者
Muller Albert (Muller, Albert)

東京大学・人文社会系研究科・教授

研究者番号：60265527
交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：研究の期間、研究代表は儒教の「十三経」のうち四経(『論語』、『孝経』、『孟子』、および『書経』)の中に含まれるの単漢字と熟語のすべてのオンライン『漢日韓越-英辞典』に入力を終了した。さらに、『老子』、『莊子』、および『淮南子』に含まれたすべての単語が加えられた。最終的に、中国の古典に含まれた『Mathew's Chinese-English Dictionary』の最初の100ページからの単漢字と熟語をすべてが加えられた。このデータの包含のため、それは中国古典文学の研究のための最も包括的なオンライン・リファレンスリソースになった。

研究成果の概要(英文)：During the research period, the research representative completed the input into the online CJKV-Dictionary of all of the individual kanji and compound words contained in four of the thirteen Confucian classics, including the Analects of Confucius, the Book of Filial Piety, the Mencius, and the Book of History. In addition, all the words contained in the Laozi, Zhuangzi, and the Huainanzi were added. Finally, all of the kanji and compound words from the first 100 pages of the Mathews Chinese-English dictionary that were found in Chinese classical texts were added. At the end of the research period, it contained 12,021 single kanji and 47,767 compound words. Because of the inclusion of this information, it has become the most comprehensive online reference resource for the study of classical Chinese literature. This dictionary is provided on the Internet at <http://www.buddhism-dict/dealt>. Persons who would like to search the dictionary can search by using the userID "guest."

研究分野：東洋思想史

キーワード：漢英辞典 classical Chinese 論語 孟子 莊子 老子

1. 研究開始当初の背景

まず最初に、現在の科研プロジェクトは先の科研プロジェクトの継続と考えられるべきである（「東アジア漢英辞典の開発とウェブサービス作製」基盤研究(C) [22520389] (H21-24)）。前のプロジェクトでは、中国古典(儒教と道教の)の研究の為にオンライン漢語・英語辞書の基礎は確立された。その前のプロジェクトは中国古典の研究のためのオンライン・リファレンスリソースの欠乏(英語参照用の情報資源の欠乏と同様に)に対応して設立された。このプロジェクトで作成された辞書以外に、中国古典の研究の為に、他の包括的な現代作成の辞書は存在していない。前のプロジェクトの完成では、辞書は 11,073 単漢字と 31,911 熟語を含みました。

2. 研究の目的

現在のプロジェクトの目的は以前に作成された辞書の内容をかなり補うことであった、最も正確な中国古典から単語を選択して、単語を加えること。当初の目標は、十三經に含まれたすべての単語を含むことであった。(十三經は、易經、書經、詩經、周礼、儀礼、礼記、春秋左氏伝、春秋公羊伝、春秋穀梁伝、論語、孝經、尔雅、孟子を含む)。前の科研プロジェクトに基づく辞書に含まれた単語にこれらを追加することによって、中国古典の研究者は古典的な中国のテキストを読んでいる際、遭遇したどんな単語も、提供されると確信できる。

3. 研究の方法

(1) 辞書を編集する第一の方法は、いくつかの主要な辞書に含まれた単語の一致にそれらを合わせることによってデジタル化している漢文古典における単語を特定することであった。これらの辞書は『大漢和辞典』(諸橋)、『漢語大辞典』、『学研漢和辞典』、および『角川字源』を含んでいた。その単語がこれらの辞書に含まれているなら、それは括弧でマークされた、以下の例のように:

[孟子]見[梁惠王]。王曰、叟、不遠[千里]而來、亦將有以利吾國乎。孟子對曰、王何必曰利。亦有[仁義][而已矣]。王曰、[何以]利吾國。[大夫]曰、何以利吾家。[士庶人]曰、何以利吾身。上下交征利、而[國危]矣。[萬乘之國]弑其君者、必[千乘之家]、[千乘之國]、弑其君者、必[百乘之家]。萬取千焉、千取百焉、不爲不多矣、苟爲[後義]而先利、不奪不賢。未有仁而遺其親者也、[未有]義[而後]其君者也。王亦

曰[仁義][而已矣]、[何必]曰利。

そして、文脈からの意味に基づいて、その単語は辞書に追加された。同時に、これらの他の辞書がその単語を含んでいる場合、それらの定義は、適切に、含まれていた。辞書に対する付加単語のこの仕事はコンピュータ・プログラミングの用法でたいへんサポートされた。例えば、マイクロソフト VBA や XML は利用された。辞書のための TEI ガイドラインに基づいてデータベースは XML 形式で構成された。

(2) 辞書に加える 2 番目の方法は「Mathews Chinese-English Dictionary」の最初の 100 ページのデジタル化に基づきました。これらのページがデジタル化された後に、上の 5 冊の辞書に基づく同じ一致を適用した。単語マッチがあれば、私たちは用語を加えるでしょう。Mathews からの定義を含んでいます、他の辞書に含まれた定義と同様に。他の辞書に含まれたデータが、中国語と日本語で書かれたので、これは英語に翻訳された。

4. 研究成果

研究の期間、研究代表とアシスタントは十三經の内に、4 つに含まれた個々の漢字と熟語のすべての入力を終了した。これは論語、孝經、孟子、および書經を含んでいた。さらに、道教の伝統の 3 つの古典に含まれたすべての単語が、加えられました。これは老子、莊子、および淮南子を含んでいた。最終的に、『Mathews Chinese-English Dictionary』の最初の 100 ページに中国古典に含まれた漢字と熟語のすべてが加えられました。プロジェクト期間の始めに、オンライン CJKV-E Dictionary は 11,073 単漢字と 31,911 の熟語を含みました。研究の期間の終わりに、それは、12,021 単漢字と 47,767 の熟語を含みました。このデータの包含のため、CJKV-E Dictionary は中国古典文学の研究のための最も包括的なオンライン・リファレンスリソースになりました。

この辞書には、他の辞書と比べて、特有の数ポイントがあります: (1) 他のオンライン漢字辞書は漢字と熟語の現代の意味の情報を主に提供します。しかしながら、この辞書は古代的、そして、古典的な意味を含んでいます。(2) 他のオンライン辞書は、単に古い辞書の再現か様々な未確認の情報からのコンピューター化している集合のどちらかである。他方では、この辞書の各入ることは人間が編集された、そして、語彙的、そして、古典的なソースは明確に特定されます。したがって、はるかに高い学問的価値があります。(3) アクセスチャージを支払わずに、この辞書を捜すことができる。

インターネットで名前「CJKV-E Dictionary」を使用することでこの辞書を提供します。辞書の URL は <http://www.buddhism-dict/dealt> である。辞書を参照したがつている研究者は、userID「お客様」を使用することによって、探ることができる。この政策は 24 時間で 10 の検索を可能にするでしょう。1 日に 10 回以上探したがつている人々は、プロジェクトに研究資料を寄付することによって、完全なアクセスを得ることができる。

この辞書は WWWeb に見るためにデスクトップコンピュータと携帯電話の両方によってフォーマットされます。以下の通り例の項目を見ることができる:

CJKV-English Dictionary

四書

[Pronunciations]

[zh-py] sìshū
[zh-wg] ssu-shu
[ko-mc] saseo
[ko-mr] sasō
[ja-kk] [on] シシヨ
[ja-hb] [on] shisho

Meanings

The 'four books' of Confucian learning selected by Zhu Xi 朱熹 as a core curriculum during the Song period. These are the *Analects* 論語, the *Mencius* 孟子, the *Great Learning* 大學, and the *Doctrine of the Mean* 中庸.

An alternative set of four is the *Analects*, *Classic of Filial Piety* 孝經, *Great Learning*, and *Doctrine of the Mean*.

The division of Chinese literature into classics 經, histories 史, words of the philosophers 子, and collections 集.

[Dictionary References]

Hanyu dacidian CD-Rom
Gakken kanwa jiten (Digital Version)
Dai kango rin p. 270
Dai kanwa jiten vol. 3, p. 2297

[Feedback]

Entry created: 1995-07-15
Updated: 2015-08-11

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 6 件)

(1) Muller, A. Charles. “Wŏnhyo’s Approach to Harmonization of the Mahayana Doctrines (Hwajaeng).” *Acta Koreana* 18 (1) (2015): 9-44.

(2) Muller, A. Charles. “高麗 - 朝鮮における佛教 - 儒教間の対立の眼目: (鄭道傳(ジョンドウジョン 1342-1398)による『佛氏雜辨』と、己和(キファ)(涵虚得通(ハムホドゥックトン; 1376-1433)『顯正論』の立場に関する比較).” *文化交流研究* 28 (1) (2015): 9-21.

(3) Muller, A. Charles. “Zen Views on Views (dr̥ṣṭi): Are We Ever Rid of Them?” *Japan Mission Journal* 67 (1) (2013): 28-33.

(4) Muller, A. Charles. “Philosophical Aspects of the Goryeo-Joseon Confucian- Buddhist Confrontation: Focusing on the Works of Jeong Dojeon (Sambong) and Hamheo Deuktong (Gihwa).” Min, Anselm, ed. *Korean Religions in Relation*. 53-85. Albany, N.Y.: SUNY Press, 2016.

(5) Muller, A. Charles. “Wonhyo.” Powers, John, ed. *The Buddhist World*. 538-550. Oxford: Routledge, 2016.

(6) Muller, A. Charles. “A Pivotal Text for the Definition of the Two Hindrances in East Asia: Huiyuan’s “Erzhang yi” Chapter.” *A Distant Mirror: Articulating Indic Ideas in Sixth and Seventh Century Chinese Buddhism*. 217-271. Hamburg: Hamburg University Press, 2014.

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔学会発表〕(計 5 件)

(1) Muller, A. Charles. “ The Role of Essence-Function (*che-yong*) 體用 Hermeneutics in Korean Philosophy: Historical Background and Toegye's 'Critique on the Position that the Mind Does not have Essence and Function'. ” The American Philosophical Association Pacific Division, 90th Annual Meeting, San Francisco, March 31, 2016

(2) Muller, A. Charles. “ Translating the Buddhist Canon in the 21st Century:

Remarks on the Current Status, and How We Can Do Better.” USC Symposium on Translating Buddhist Texts: Reflections on Theory and Method, March 26, 2016

(3) Muller, A. Charles. “ The Emergence of Essence-Function (ti-yong) 體用 Hermeneutics in the Sinification of Indic Buddhism: Early Chinese Examples. ” Tokyo Buddhist Discussion Group, February 13, 2016

(4) Muller, A. Charles. “ Korea's Great Buddhist-Confucian Debate.” Korean Studies Authors Special Lecture Series. Kyujanggak, Seoul National University. January 27, 2016

(5) Muller, A. Charles. “ The Role of Essence-Function 體用 Hermeneutics in the Sinification of Indic Buddhism: A Propaedeutic Investigation. ” University of Tokyo/Geumgang University Seminar: Developments of Madhyamaka and Yogacara in East Asia (東京大学・金剛大学校合同学術セミナー テーマ「中観・唯識の東アジア的展開」). January 18, 2016

〔図書〕(計 2 件)

(1) Muller, A. Charles. *Korea's Great Buddhist-Confucian Debate: The Treatises of Chŏng Tojŏn (Sambong) and Hamhŏ Tŭkt'ong (Kihwa)*. Honolulu: University of Hawai'i Press, 2015.

(2) Muller, A. Charles (In collaboration with Ockbae Chun). *A Korean-English Dictionary of Buddhist Terms*. Seoul: Unjusa, 2014.

〔その他〕
ホームページ

<http://www.buddhism-dict.net/dealt>
<http://www.acmuller.net/>

6 . 研究組織

(1)研究代表者
ミュラー アルバート チャールズ
(MULLER, Albert Charles)
東京大学大学院・人文社会系研究科・教授
研究者番号： 60265527